

令和5年度第1回高梁市総合教育会議 会議録

1. 招 集 令和5年11月1日 午後3時00分
2. 開 会 令和5年11月1日 午後3時00分
3. 閉 会 令和5年11月1日 午後5時00分
4. 会議の場所 高梁市役所3階会議室2・3
5. 出席、欠席した構成員の氏名

氏 名	出欠の別
近 藤 隆 則	出 席
小 田 幸 伸	出 席
渡 邊 あ り さ	出 席
吉 川 昭	出 席
川 上 は る 江	出 席
西 井 道 治	出 席

6. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
秘 書 企 画 課 長	川 上 秀 吉	
教 育 次 長	高 原 あ ゆ み	
参 与	田 村 啓 介	
教 育 総 務 課 長	藤 井 聡 美	
こ ど も 教 育 課 長	荒 田 真 一	
社 会 教 育 課 長	亀 山 智 弘	
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	野 口 和 則	
教 育 総 務 課 総 務 係 長	大 月 智 美	

7. 協議題

- (1) 学校園に係る適正配置の検討について
- (2) 高梁市の長期欠席・不登校対策について
- (3) 高梁市のICT教育について

8. 議事の概要

1 開会

2 あいさつ（市長）

教育行政と市の全体の行政とで、うまく連携が取れていると感じており、教育長それから教育委員の皆様方が本当に熱心に取り組んでいるその成果が表れていると感謝を申し上げたい。

国の補正予算では、経済対策である子どもたちのタブレットの更新経費が予算化されるようであります。高梁市においては、しっかりICT教育に取り組んでおり、私は皆さんとともに自負していると思っています。そういう観点から財政的に負担なしに、これからも子どもたちに対して、しっかりICTを活用した教育と、その中でICTの怖さというものも含めて教えていき、今後も活用していただきたいと思います。

また文化財の関係は、備中神楽がユネスコの世界遺産の認定に向けて、高千穂神楽が中心となって今進められている。岡山県においても、その指定に向けて進めるということが表明され、高梁市においてもしっかり他の地域との連携を取りながら進めていきたい。

日本人としてそういう文化・歴史、伝統継承というのは大切なことだと思うので、子どもたちにもしっかり教えないといけないところだろうと思う。そうしたことを踏まえながら、この教育行政全体をも進めさせていただければと思っています。

3 協議題

教育総務課長	別紙資料により「(1) 学校園に係る適正配置の検討について」を説明。 (高梁市総合教育会議設置要綱第5条第2項により非公開)
こども教育課長	別紙資料により「(2) 学高梁市の長期欠席・不登校対策について」を説明。
西井教育委員	高梁市のICTはとても進んでいると感じる。 しかし担任の先生がICTを活用してアンケートや調査を実施するとなると現在でも多忙な中さらに負担が増え、心に不安を感じているお子さんに対するケア等寄り添えなくなるのではと感じる。担任ではなく第三者にお願いするなど、せっきくのICTをうまく活かせる方法も逆に考えた方がいいと思う。
こども教育課長	先生方も多忙を極めているが、まず基本は自分たちのクラスの子の状態を確認するということも担任の大切な仕事だと思う。しかし担任だけでは対応できない部分もたくさんあるので、学校の先生みんなで工夫をして、担任が全てを背負い込まないようなアプローチも大切だと感じている。

吉川教育委員	不登校が減っているということは頑張っている成果だと思う。 いじめ対策にＩＣＴを活用していることもとても良いことだと感じた。 アンケート等、先生の負担になることもあるので、ＩＣＴを活用することでより簡単に実施できることは画期的だと思う。 中学校を卒業すると、不登校、引きこもりについては教育委員会では関与でなくなる。長いスパンで子どもを見守れる体制が市全体で必要だと思うので、保護者へ手を差し伸べられる施策をお願いしたい。
こども教育課長	別紙資料により「(3) 高梁市のＩＣＴ教育について」を説明。 (特になし)

4 その他

5 閉会

あいさつ（市長）

本日はありがとうございました。高梁で学ぶことが素晴らしいと言ってもらえるまちにしていきたいという思いが一番で、そのためには、市長部局としても取り組まないといけないこともたくさんあると認識をしている。

また後日、県知事と子ども子育てに関する意見交換会があるので、今日いただいた内容について発言し、県にも認識してもらい施策につなげていきたいと思っている。今後もしろいろとご意見を賜りたい。今後ともよろしくお願いいたします。